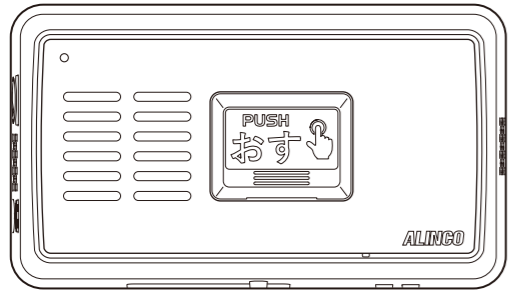


温湿度センサー搭載ワイヤレスコール 取扱説明書



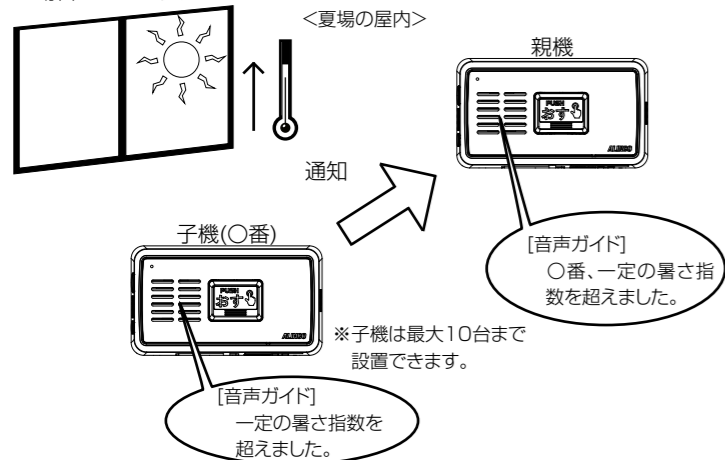
アルインコの製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本機は免許、資格不要のデータ伝送用特定小電力無線機器です。本機の性能を十分に発揮させるために本書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、本書は必ず保管してください。また、保証書や補足シートなどが入っている場合は、本書とあわせて保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。海外では規格と電波行政の違いから使用できません。This product is intended for use only in Japan.

メモ 本文中、「ボタンを押す」はしっかり一度押して、すぐに指を離すことを指します。「ボタンを長押しする」は数秒間押し続けることを指します。

システム概要

本機は子機周辺の温湿度の環境状態(暑さ指数)を親機に通知、親機はその通知を音声ガイドでお知らせするワイヤレスコールシステムです。
※親機と子機の詳細な設定には無償の専用ソフトと別売の接続ケーブルが必要です。
※環境状態の検知は一定の時間間隔で行うため、リアルタイムの状態と異なる場合があります。



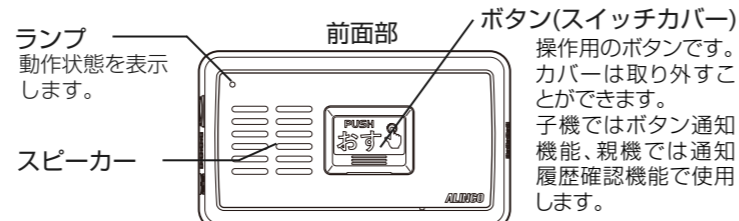
付属品

付属品をご確認ください。

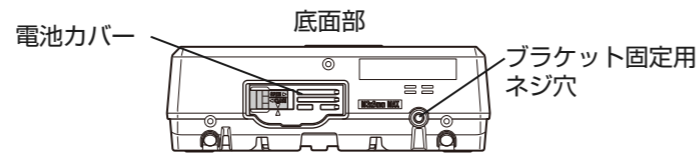
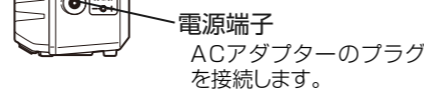
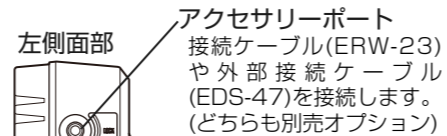
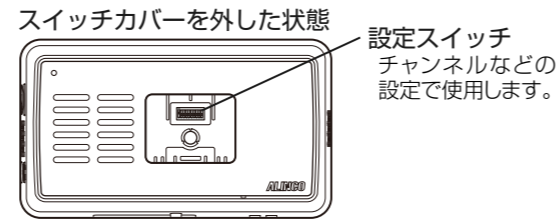
- ブラケット
- 落下防止ネジ 1本(銀色)
- ACアダプター (EDC-323)
- 取扱説明書(本書)
- 保証書
- ブラケット取付けネジ 4本(黒色)
- ロックプレート
- L字変換ケーブル
- 注意文

※欠品や製品異常があるときは、まずご購入された販売店にご相談ください。
※本製品の保証は上記の付属品のみに適用されます。
別売オプションはその製品の保証規定に準じ、保証書が同梱されないものはお買い換えや修理が必要です。

各部の名称



メモ 本書ではスイッチカバー部品が装着された状態をボタンと呼びます。

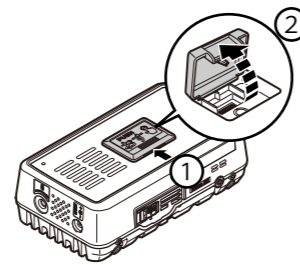


スイッチカバー(カバー)の脱着

本書の「設定スイッチの操作と機能」の設定を変更するときにカバーを取り外します。

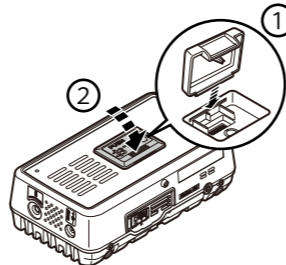
カバーを取り外す

- ① 本体の前面部を上にして机の上などに置き、カバーの溝に指を引っ掛けます。
- ② カバーの溝に引っ掛けた指を持ち上げるとカバーが外れます。



カバーを取り付ける

- ① 右図の溝にカバーの突起部を斜めに入れてカバーを引っ掛けます。
- ② 「カチッ」という音がするまでカバーを下側に押し込みます。

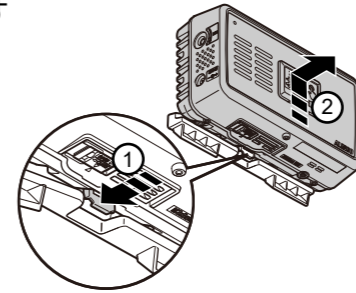


ブラケットを壁に取り付けて使用する方法

ブラケットを本体から取り外す

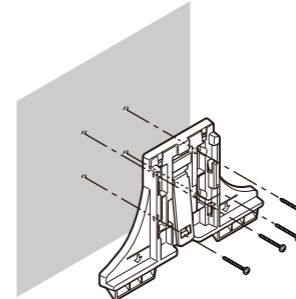
※ブラケットは本体に取り付けられた状態で梱包されています。

- ① 本体に取り付けられているブラケットの金属レバーを下げます。
- ② ブラケットの金属レバーを下げながら、本体を上へスライドして引き抜きます。



ブラケットを壁に取り付ける

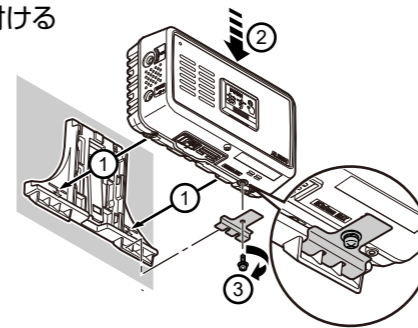
付属のブラケット取付けネジ(黒色 M3×12)を使用して壁に取り付けてください。
※ネジの取付けには適切なプラスドライバーをご用意ください。



- 注意**
- ・直射日光が当たる場所や、空調装置の近くなどでは誤動作することがあります。防水防塵ではありません。屋内に設置してください。
 - ・ブラケットを取り付けるネジは付属のものを使用してください。取り付けるときにブラケットと壁の間に隙間がないようしっかりと固定してください。定期的にネジにゆるみがないか、落下するおそれがないかを点検してください。
 - ・付属のネジ(ブラケット取付けネジ)は木製の壁に取り付けるためのネジです。コンクリートなどは付属のネジで取付けができません。内装業者などにご相談いただくか、コンクリートなどに適合する止め金具やネジ類(規格 M3、ナベ頭10mm以上推奨)を別途お求めください。弊社では取付けに関するご相談は承っておりません。

ブラケットに本体を取り付ける

- ① ブラケットに印字されている2箇所の「↓マーク」と本体の底面を合わせる。
- ② 本体を「カチッ」と音がするまでスライドさせます。
- ③ ブラケットから本体が外れて落下しないよう同梱のロックプレートと落下防止ネジで固定します。ロックプレートの穴と本体底面のネジ穴を合わせ、落下防止ネジ(銀色 M3×6)を占めてください。勝手に取り外すなどのイタズラ防止にもなります。

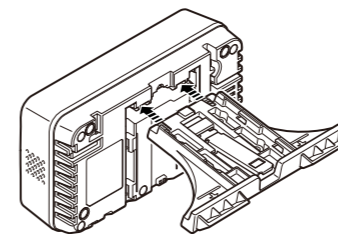


ブラケットをスタンドとして使用する方法

本体のブラケットはスタンドとしてもご使用いただけます。ブラケットを壁に取り付ける方法と使い分けてご使用ください。

スタンドとして取り付ける

- ① ブラケットの金属レバーがある面を上にしてを図のように背面のスリットに合わせます。
- ② 斜め上方向に「カチッ」と音がして止まるまでブラケットを押し込みます。
- ③ 安定した水平の台に置き、がたつきがないか確認します。正しく取付けていないとブラケットが外れて転倒し故障の原因となります。



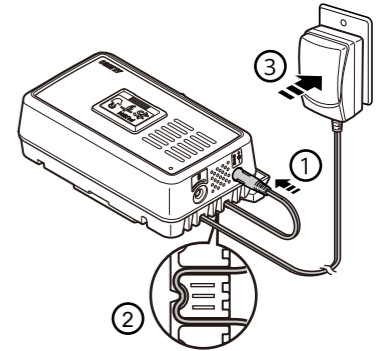
ブラケットを取り外す

本体をしっかり手で持って、ブラケットを左右に軽く動かしながら引き抜きます。

- 注意**
- ・まっすぐ引き抜こうとすると、勢い余って本体やブラケットを落下させてしまう危険があります。不要な抜き差しを繰り返すとゆるみの原因となります。

ACアダプターの接続方法

- ① 電源端子にACアダプターのプラグを接続します。
- ② プラグの抜けを防止するため、ケーブルを本体背面のスリットへ押し込みます。
- ③ ACアダプターをコンセントに接続すると、自動的に電源が入ります。
※電源を切る場合は、ACアダプターをコンセントから抜きます。



※L字変換ケーブルをご使用になると、ケーブルを這わせやすい場合があります。また、ACアダプターだけではコンセントまでの長さが足りないときにもご使用いただけます。取付方法は本体の電源端子とL字変換ケーブルのプラグを接続した後、L字変換ケーブルのソケットとACアダプターのプラグを接続してください。

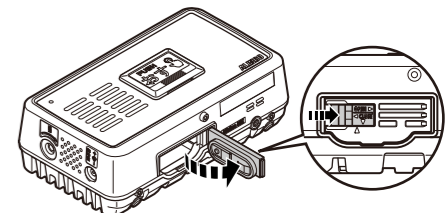
- 注意**
- ・弊社指定のACアダプター以外は接続しないでください。故障の原因となります。
 - ・本機を長期間使用しないときはACアダプターを取り外してください。取り外すと電源が切れます。

電池の取付け方法

ACアダプターの代わりに別売の単三形アルカリ乾電池または単三形リチウム乾電池2本が使用できます。

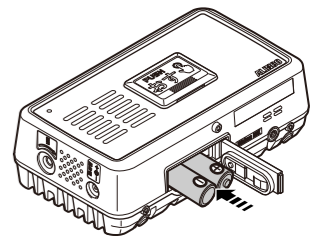
①電池カバーを開ける

ロックレバーをOPEN側へスライドさせながら電池カバーを開けます。



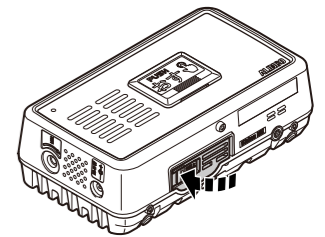
②電池を入れる

単三形乾電池2本を図の向きにして入れます。



③電池カバーを閉める

電池カバーを「カチッ」と音がするまで、押し込んで閉めてください。本機の電源が入ります。
※電源を切るときは電池カバーを開けて、電池を取り外します。本機に電源スイッチはありません。



- 注意**
- ・マンガン乾電池とニッケル水素充電電池は使用しないでください。動作不良の原因になります。
 - ・リチウム乾電池はアルカリ乾電池よりも長持ちします。
 - ・電池は同じブランドの新しいものをご使用ください。必ずアルカリ乾電池またはリチウム乾電池をご使用ください。
 - ・長期間使用しないときは液漏れを防ぐため電池を取り外してください。
 - ・使用状態、ブランド、種類の違う乾電池を混ぜて使用すると液漏れや発熱の原因になります。
 - ・電池カバーを本体に取り付ける際にはホコリやごみなどが間に挟まらないようにしてください。

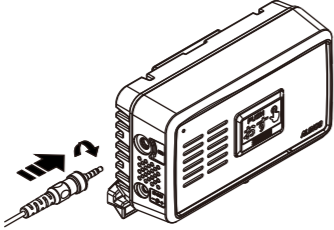
外部接続ケーブルと接続ケーブルの接続方法(別売)

外部接続ケーブル(EDS-47)

①アクセサリポートに外部接続ケーブルのプラグを差し込んでください。

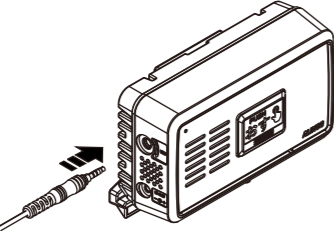
②外部接続ケーブルのプラグを時計方向(右)に回転が止まるまでねじ込んでください。差し込むだけでは正しく動作しません。

※取り外すときは反時計方向(左)に回しながら抜いてください。



接続ケーブル(ERW-23)

アクセサリポートに接続ケーブルを差し込んでください。奥まで差し込まないとパソコンと通信できません。



管理者用操作

親機と子機の動作設定は、別途パソコンで行います。設定には別売の接続ケーブル(ERW-23)が必要です。システムを管理される方は先に詳細取扱説明書に目を通しておくと、本書の内容が理解しやすくなります

詳細取扱説明書は下記から無償でダウンロードできます。

https://www.alinco.co.jp/ >電子事業部>ダウンロード

※設定ソフトのインストールと使用方法は詳細取扱説明書に記載しています。ソフトを使用するためのスイッチ設定がありますので、本書を引き続きお読みください。

基本操作

ここでは端末の基本的な内容と操作を説明します。

電源の入れ方

乾電池を本機に入れるかACアダプターを本機に接続すると、電源が入ります。電源が入ると、「ピポパ」というピーブ音が鳴り、15秒程度緑と青の点滅をします。起動準備中なので、触らないでお待ちください。

電源の切り方

乾電池を本機から取り出すかACアダプターを本機から外すと、電源が切れます。

注意	<ul style="list-style-type: none">ACアダプターを本機から外しても電源が切れないときは、本機に乾電池が入っている可能性があります。取り外してください。 ACアダプターのプラグを素早く抜き挿しするなどの電源の入り切りを短時間で繰り返すと、電源が切れなくなるのでお止めください。切れなくなったときは電池やアダプターを外し、30秒ほど時間を置いてから、あらためて電源を入れ直してください。 ランプが消灯していても乾電池が入っていると、乾電池は消耗します。使用しない場合は、電池を本機から取り外してください。
-----------	---

バッテリーセーブについて

子機は乾電池節電のため動作していないときは、バッテリーセーブ状態になっています。ランプが消灯していますが、電源は入っており、正常な状態です。バッテリーセーブはOFFにすることができません。

チャンネルについて

混信を避けたり複数のシステムを同時に使用するために、15個のチャンネルを採用しています。同じグループのチャンネルは親機と子機すべて、同じものを設定します。複数のグループをお互いの電波が届くような近距離に設置するときは、グループごとのチャンネル番号はなるべく離れたものにごください。グループは親機を含めて最大11台繋げることができます。

子機の機能

環境状態機能

子機周辺の温湿度環境や暑さ指数(WBGT)が設定した状態よりも高くなると親機に通知する機能です。音声ガイドでもお知らせします。暑さ指数とは温湿度によって、算出される熱中症を予防することを目的とした指数のことです。「室内用のWBGT指定図」をもとに算出しています。※温湿度や暑さ指数のしきい値は本機の設定ソフトで変更できます。

ボタン通知機能

子機のボタンを押すと親機に通知します。あらかじめボタンを押すときの用途を決めてお使いください。

例：「定時巡回で子機の前を通過したとき」「通知があった子機に到着、周囲の安全を確認したとき」

①子機のボタンを「ボタン通知を行います」と音声ガイドが流れるまで長押しします。
②親機が通知を受けると「○番、ボタン通知操作が行われました。確認してください。」と2回音声ガイドでお知らせします。
※「○番」は子機の番号です。本機の設定ソフトで1～11番まで設定できます。

外部接点検出機能

子機の外部接点が動作したことを親機に通知する機能です。本機のアクセサリポートに外部接点ケーブル(別売オプション:EDS-47)を接続し、外部接点ケーブルの端子2線が導通したとき(a接点)親機に通知します。断線したとき(b接点)には動作しません。
※センサーやスイッチ類の接点開閉情報を通知できます。接続に関するご相談は販売店や弊社HPのお問い合わせフォームで承ります。

減電池通知機能

乾電池残量が少なくなってきたときに、親機に通知する機能です。親機から「○番、電池の残量が減っています。電池を交換してください。」と音声ガイドが聞こえたら、子機の乾電池を交換してください。ACアダプター使用時には機能しません。

注意	<ul style="list-style-type: none">すべての機能は起動準備中は動きません。ランプが消灯するまでお待ちください。 すべての音声ガイドの内容は変更できません。
-----------	--

親機の機能

通知機能

子機からのボタン通知や環境状態、外部接点、減電池の通知を受けると、音声ガイドでお知らせします。音声ガイドは2回繰り返します。

通知履歴確認機能

各子機から届いた通知の最後の一件を一度だけ再生する機能です。

-操作-

子機からの通知を受けた後、親機のランプが赤と青の点滅をしているときに親機のボタンを押すと、記録した通知を音声ガイドでお知らせします。

注意	<ul style="list-style-type: none">通知履歴確認を行うとすべての通知記録が削除されます。また、電源を切ってもすべての通知記録が削除されます。通知記録を保存することはできません。 各子機からの最後に受けた通知のみが自動で記録されます。それ以前に記録されていた通知記録は別種類の通知であっても削除されます。 通知履歴確認の音声ガイドは個体番号順にお知らせします。個体番号は設定ソフトで設定できます。詳細取扱説明書をご確認ください。
-----------	---

減電池表示機能

電池残量が少なくなってきたときに、ランプの緑の点滅でお知らせする機能です。乾電池を交換してください。ACアダプター使用時にはこの機能は動作しません。

重要	<ul style="list-style-type: none">ランプ表示やスピーカーでお知らせなど、子機よりずっと多く電気を消費するため、親機はACアダプターの使用を強くお勧めします。
-----------	---

外部スピーカー機能

外部スピーカーで音声ガイドをお知らせする機能です。アクセサリポートに外部接続ケーブルとスピーカーを接続します。詳しい使用方は詳細取扱説明書をご覧ください。

設定スイッチの操作と機能

パソコン設定の前に必要な操作です。

本機の動作を設定スイッチのON/OFFで指定します。本機のスイッチカバーを取り外し、内部の設定スイッチ1～4、7～10を操作して各機能を設定します。設定スイッチの操作はペン先など先端が鋭利ではないものをご使用ください。

ON		※設定スイッチ5、6は使用しません。
OFF		
	初期状態はすべてOFF側です。	

・チャンネル設定

設定スイッチ1～4を操作することで、チャンネルの番号を切り替えます。初期値はチャンネル1(すべてOFF)です。親機と子機はすべて同じチャンネルに設定してください。違うチャンネルにすると通信ができません。設定ソフトでチャンネル番号を設定するときは1～4のスイッチをすべてONにします。(この状態の初期値はチャンネル1です。)

	設定スイッチ			
チャンネル	1	2	3	4
1				
2				ON
3			ON	
4			ON	ON
5		ON		
6		ON		ON
7		ON	ON	
8		ON	ON	ON
9	ON			
10	ON			ON
11	ON		ON	
12	ON		ON	ON
13	ON	ON		
14	ON	ON		ON
15	ON	ON	ON	
カスタム	ON	ON	ON	ON

※何も記載がない箇所はOFFです。

・環境状態機能のON/OFF

設定スイッチ7を操作して環境状態機能の有効／無効を切り替えます。初期値は有効です。無効にする場合は、設定スイッチ7をON側にスライドします。環境状態確認の時間間隔は設定ソフトで変更できます。初期値は15分です。

・外部接点検出機能のON/OFF

設定スイッチ8を操作して外部接点検出機能の有効／無効を切り替えます。初期値は無効(OFF)です。有効にする場合は設定スイッチ8をON側にスライドします。

・音量の大/小

設定スイッチ9を操作して音声ガイドの音量を変更することができます。初期値は音量大(OFF)です。音量を小にする場合は設定スイッチ9をON側にスライドします。大/小の音量は設定ソフトで変更できます。初期値は音量大が12、音量小が4です。

・消音(子機用)

設定スイッチ10を操作して音声ガイドを消すことができます。初期値は無効(OFF)です。消音する場合は設定スイッチ10をON側にスライドします。

注意	<ul style="list-style-type: none">親機は消音せずにご使用ください。子機からの通知が分からなくなります。
-----------	--

ランプ表示

電源が入っているときの状態です。

子機	起動準備時	緑と青の点滅
	待機状態	緑の点灯
	バッテリーセーブ状態	消灯 (節電のため自動消灯します)
親機	通知	赤の点灯
	起動時	緑と青の点滅
	待機状態	緑の点灯
	通知履歴有り	赤と青の点滅
	減電池時	緑の点滅

オプション

接続ケーブル (ERW-23)
3m外部接続ケーブル (EDS-47)

注意	<ul style="list-style-type: none">保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
-----------	--

定格

通信方式	LoRa通信(ARIB-STD-T108)
定格電圧	DC6.0V(ACアダプター使用時) DC3.0V(単三形乾電池2本)
動作温度範囲	−10～50℃
質量	本体のみ：約250g / ブラケット取付け状態：約284g(電池除く)
外形寸法	本体のみ：150(W)×86.3(H)×49.2(D)mm ブラケット取付け状態：150(W)×99.5(H)×55.7(D)mm
通信距離	河原など障害物のない平地、見通しの良い道：500m～1km程度

本製品は防水、防塵構造ではありません。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
音が出ない。	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
ランプが点かない。	電池の向きを間違えている。	「+／-」の表示にしたがって正しく装着する。
	ACアダプターから電圧が供給されていない。	プラグやコンセントへの接続を確認する。
	本機がバッテリーセーブになっている。	本機は節電でランプが消灯しているだけのため、そのまま使用できる。
	音量を消音にしている。	設定スイッチの10番で音量を消音にしているか、設定ソフトの「音量」が「0」、「親機：オプション接続」が「本体スピーカーOFF」になっていないか確認する。
通知しない。	回線が混んでいる。	しばらく待つと自動的に通知する。
親機との通信に失敗する。	親機と子機の設定が出来ていない。	設定ソフトで親機と子機の設定を行う。
	親機と子機の距離が遠すぎる。	親機と子機の距離を近づける。

MEMO